

南 三 陸

平成28年

9 月号

No.127

2016年9月1日発行



紙しばいで学ぶ 生ごみの分別

7月20日(水)、名足こども園においてバイオエネルギー出前授業が行われました。町では、「エコタウン」を目指す取り組みの一つとして、生ごみの資源化を図るため、昨年の10月から生ごみの分別収集を始めました。その取り組みを子どもたちにも知ってもらうため、南三陸B I Oの工場長である榎田豊久さんと町内でさまざまな活動をされている上山八幡宮禰宜の工藤真弓さんが、名足こども園の園児たちに紙しばいを用いて生ごみを分別することの大切さを分かりやすく話しました。園児からは、「卵の殻はどうしてダメなの？」という質問が出るなど、紙しばいに興味津々の様子でした。